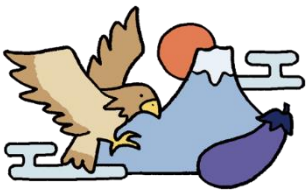
令和６年度給食だより

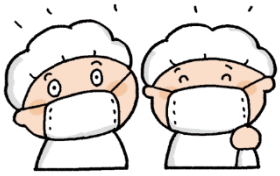
すこやか1月号



矢巾町学校給食共同調理場

学校給食週間が始まります

学校給食週間は、学校給食の意義や役割などについて知ってもらい、学校給食の充実を図ることを目的として定められています。



～学校給食の移り変わり～

～明治時代～

貧しくてお弁当を持ってくることができない子どもたちのために、お坊さんがお昼ごはんを作っていました。

～大正時代～

子どもたちの栄養改善のために国からすすめられて、学校給食が広まっていきました。

～昭和初期～

太平洋戦争が終わったあと、アメリカから小麦粉や脱脂粉乳が届けられ、コッペパンとミルクの給食が提供されました。

～昭和後期～

食べものの洋風化がすすみ、カレーライスやスパゲッティが登場するようになりました。パンだけではなく、ごはんも提供されるようになりました。

そして現在

郷土料理や行事食、さまざまな国の料理など、メニューが豊富になりました。

また、食を学ぶ教材としての役割もあります。

✨ １月の給食は矢巾町産「銀河のしずく」を提供します✨

今年１月中の給食は、「銀河のしずく」という品種のお米を給食で提供しています。　矢巾町室岡地区で生産された「銀河のしずく」です。もしかしたら、登下校中に見る風景の中に、「銀河のしずく」が育っていた田んぼがあったのかも…？そう思うと、より身近に感じられますね。丹精こめて育てられた町産の「銀河のしずく」を、よく味わっていただきましょう。

✨「銀河のしずく」名前の由来✨

「銀河」は、キラキラと光る星空から、お米一粒一粒の輝きをイメージさせます。また、宮沢賢治の作品のタイトルにも使用されており間接的に「岩手」をイメージさせます。

「しずく」は、このお米の特性である、つや、白さなど、美味しさを表現しています。

「銀河のしずく」のパッケージには、カラフルな９個のしずくが描かれています。それぞれ、太陽、銀河、空、土、人の愛情、大地、水、豊かなみのり、肥料という、おいしさのポイントをあらわしています。

保護者の方へ　（給食費の納入について）

納付書で納入される方は月々の納付期限を、口座振替で納入される方は引き落とし日の預金残高をご確認くださいますようお願いいたします。

第 ９ 期納付期限は、令和 ７ 年1月31日（金） です。

地産地消

今年度も矢巾町産の新鮮でおいしい食材を給食に取り入れています。

１月使用予定の町産食材は、米、大豆製品、ヤーコン、ねぎ、はくさい、だいこん、かぼちゃなどです。

調理場では、調理した給食１食分について放射性物質の測定を実施しています。

12 月の測定結果は、厚生労働省の基準値以下でした。